

東京放射線

2018年2月号

Vol.65 No.758



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

巻頭言	会 告	お知らせ	叙 勲	報 告	連 載
つながる医療、つなげる「和」～One for all, All for one～ 白木 尚	第10回MRI集中講習会 平成29年度城西支部研修会 平成29年度多摩支部研修会	平成29年度第15地区研修会 平成29年度第8地区研修会 平成29年度第16地区研修会 平成29年度第5地区研修会 平成29年度第6地区研修会	瑞宝双光章	平成28年度新人奨励賞 受賞報告 萩原奈津美	「急性疾患アラカルト」第二部 血管系「食道静脈瘤」 野中孝志

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2018年
FEB

CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 つながる医療、つなげる「和」～One for all, All for one～ … 副会長 白木 尚	4
会告1 第10回MRI集中講習会	学術教育委員会 5
会告2 平成29年度城西支部研修会	城西支部委員会 6
会告3 平成29年度多摩支部研修会	多摩支部委員会 7
会告4 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	8
会告5 第76回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 9
会告6 平成29年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	SR推進委員会 10
お知らせ1 平成29年度第15地区研修会	第15地区委員会 11
お知らせ2 平成29年度第8地区研修会	第8地区委員会 12
お知らせ3 第16地区研修会(TART・SART地区合同)	第16地区委員会 13
お知らせ4 平成29年度第5地区研修会「第5地区のつどい」 …	第5地区委員会 14
お知らせ5 第6地区meeting	第6地区委員会 15
叙 勲 瑞宝双光章	16
平成28年度新人奨励賞 受賞報告	萩原奈津美 18
連 載 学術が行く～急性疾患アラカルト～	
第二部 血管系「食道静脈瘤」	野中孝志 21
こ え	
・第74回日暮里塾ワンコインセミナー印象記	田村直実 25
パイプライン	
・超音波画像研究会 第253回定例会	26
・日本消化器がん検診学会 第49回放射線研修委員会 学術集会	27
・第16回日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会	28
平成29年度第8回理事会報告	29
平成29年度12月期会員動向	33

Column & Information

・イエローケーキ	26
・学術講演会・研修会等の開催予定	31

巻頭言



つながる医療、つなげる「和」 ～ One for all, All for one ～

副会長 白木 尚

本年も「新春のつどい」が盛会に開催されましたこと、ご参加いただいた皆さまに感謝申し上げます。年が明け新たな気持ちで、本年度事業のまとめに取り組んでゆく所存です。

今回の巻頭言タイトルは、2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会東京開催（以下「学会2019」という）の大会テーマです。学会2019は、昨年6月24日に開催された南・北関東地域合同協議会において提案し、承認され開催が決定し準備を進めているところです。大盛況な大会となることを願い、今月号より進捗を報告し情報を共有して、皆さまと共に進めていきたいと思っております。現状での決定された事項は以下の通りです。

日 程：2019年6月29日（土）～30日（日）
会 場：一橋大学一橋講堂（学会会場）、学士会館（情報交換会会場）
大会テーマ：つながる医療、つなげる「和」～ One for all, All for one ～

本会では、南・北関東地域合同協議会にて提案するため、昨年6月21日にキックオフミーティングを開催し、篠原大会長の下、実行委員長は白木、副実行委員長は渡辺（現SR推進委員長）、企画委員として石田副会長をはじめ現専門部理事の方々および少々のメンバーを補強して企画委員会を立ち上げ、スタートすることになりました。6月から月に1回ペースで企画会議を開催し現在進行中です。進捗状況は日程および会場について、学会会場から情報交換会会場のアクセスが良く丁度良い規模の会場を確保することができました。

大会テーマについては少々難航しました。キックオフミーティングでの提案は、メインテーマを“One for all, All for one” サブテーマをチーム医療の推進、で提案し検討を重ねましたがなかなか決定打がなく、逆に“One for all, All for one”をサブテーマに決めて、メインテーマを（ブレインストーミングで）再検討することにしました。一部を紹介すると…

翌年のオリンピックとチーム医療を踏まえて「輪」という文字、江戸の職人・匠・技・多様性

- ①和と輪で極める匠の技 ②極める匠の技～和と輪～ ③和と輪でつなぐチーム医療
- ④つながる医療、つなげる「和」などで、多数決の結果全員が④に手を挙げて決定しました。

“つながる医療、つなげる「和」～ One for all, All for one ～” は、企画委員一同の自信作です。

この「和」が選ばれた理由を説明しますと、和という文字には「日本」を意味する文化的概念があり、和風、和服、和食などや、江戸、職人、技術にも何となくつながるところがあります。以下の説明文や「なごみ」という読みにも共感でき、勿論、和の裏には翌年開催されるオリンピックの輪も意識しています。

- 1 仲よくすること。互いに相手を大切にし、協力し合う関係にあること。「人の——」「家族の——」
- 2 仲直りすること。争いをやめること。「——を結ぶ」「——を講じる」

さらに、つなげる「和」には、ラグビーもボールをつなげるという意味で、サブタイトルにも通じるところがあります。

次に“One for all, All for one”について、直訳すると「一人はみんなのために、みんなは一人のために」ですが、実際は「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」なんだそうです。個人的にはどちらの解釈も好きですし、いろいろなことに応用できそうです。

学会2019で伝えたいのは、「ひとりの患者のために、他職種みんなが協力して医療を行う」というチーム医療の推進（All for one）と、「感染対策は一人のエラーが集団に影響してしまう」という医療安全の推進（One for all）などです。学会当日は、専門部委員・地区委員全てのTARTの役員みんなで力を合わせて実行委員会を組織して学会2019を楽しみたいです。早速で恐縮ですが演題の準備をよろしくお願い致します。

「ひとりではできないことも、皆の協力があればできる」それが技師会活動です。

つながる医療、つなげる「和」を合言葉に学会2019をよろしくお願い致します。

第10回MRI集中講習会

第10回MRI集中講習会を開催致します。各講義では専門試験問題の解説も含めて行います。

講義には本講習会用に出版した「MRI集中講習（改定版）」をテキストとして使用します（参加者には無料配布）。多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

14:00～15:15 原理（基礎）および安全管理（専門試験問題含む）

講師：杏林大学医学部附属病院 宮崎 功 氏

15:20～16:20 パルスシーケンスおよび高速撮像法（パラレルイメージング）（専門試験問題含む）

講師：虎の門病院 高橋順士 氏

16:30～17:30 アーチファクト（専門試験問題含む）

講師：公立福生病院 野中孝志 氏

17:30～18:30 脂肪抑制（専門試験問題含む）

講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院 北川 久 氏

記

日 時：平成30年2月3日（土）14時00分～18時30分（受付開始13時30分）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（当日徴収）

※講義に使用するテキストはMRI集中講習（改訂版）を使用（東放技配布）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：50名（定員になり次第締め切ります）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修4.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

平成29年度 城西支部研修会

テーマ「診療放射線研究者の為の統計解析 ～初歩の初歩～」

講師：富士フイルムRIファーマ株式会社 学術企画部 高德 桂三 氏

診断法研究の重要な目的は、検査法の正確さの評価と検査法間の比較です。

診断法での重要な進展・改良があった場合、その有用性評価のための統計解析を適切に理解し実施することが重要となります。

今回は、診療放射線研究者としての統計リテラシーを高めるために簡単に正しくデータ解析ができるようにエクセルを用いた統計教育を行います。

1. 学会発表、論文執筆に役立つ統計手法を理解する
2. 明日から現場でいかせる
3. 習うより慣れる、今日をきっかけに

以上の3点を目標に説明していただきます。PC持ち込みではなくても大丈夫です。

記

日 時：平成30年2月7日（水）19時00分～20時30分（18時30分受付）

場 所：板橋区立グリーンホール 5階504会議室

〒173-0015 東京都板橋区栄町36-1

ア ク セ ス：東武東上線 大山駅下車 北口より徒歩約5分

都営三田線 板橋区役所前駅下車 A3出口より徒歩約5分

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城西支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：30名

問い合わせ：城西支部委員会

E-Mail：shibu_jyousai@tart.jp

第3地区委員長 平瀬繁男

第9地区委員長 市川篤志

第10地区委員長 澤田恒久

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成29年度 多摩支部研修会

テーマ「救急（夜勤帯）におけるMRI撮影のコツ ～もうひとりでも怖くない～」

講師：東京大学医学部附属病院 鈴木 雄一 氏

今回の多摩支部研修会のテーマは「救急におけるMRI撮影」です。特に夜勤帯でのMRI撮影は、日勤帯にMRI担当でない技師は緊張するのではないのでしょうか。安全性のチェックは？ 動いてしまう患者はどうしたら良いの？ この疾患には、どのシーケンスが優先されるの？ 実際、何が視えているのか？ など…。急患の入室・ポジショニング・必要なシーケンス・実際の臨床画像まで、大変役に立つご講演をMRIのエキスパート技師にさせていただきます。新人技師はもちろんのこと、ベテラン技師も再確認のために、ぜひご参加ください。お待ちしております。

記

日 時：平成30年2月9日（金）19時00分～20時15分（受付開始 18時30分～）

場 所：国分寺労政会館 4階第4会議室

ア ク セ ス：JR中央線 国分寺駅 南口下車 徒歩5分

受 講 料：診療放射線技師1,000円（当日徴収）

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“多摩支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

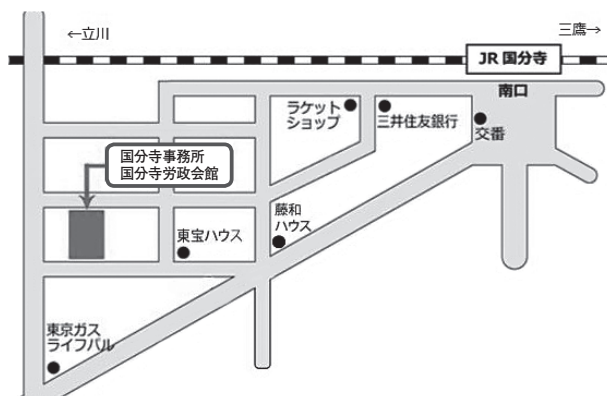
問い合わせ：多摩支部委員会 E-Mail：shibu_tama@tart.jp

第12地区委員長 鈴木 晋

第13地区委員長 崎浜秀幸

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成29年度業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。平成29年度の本会においての予定は下記の通りです。

記

受講料：会 員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締切とします。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア）講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ）欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます。

第7回

日 時：平成30年3月3日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

平成30年3月4日（日）8時30分～17時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

募集人数：30名

以上

第76回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「乳腺トモシンセシスの基礎」 ～良いところと悪いところ～

講師：シーメンスヘルスケア株式会社 ダイアグノスティックイメージング事業本部 XP事業部 大塚 恭一 氏

今回は乳腺トモシンセシスを取り上げます。

トモシンセシスの基礎を学び、良いところや悪いところを学習して、今後に役立てていただきたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成30年3月8日（木）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員500円、非会員3,000円

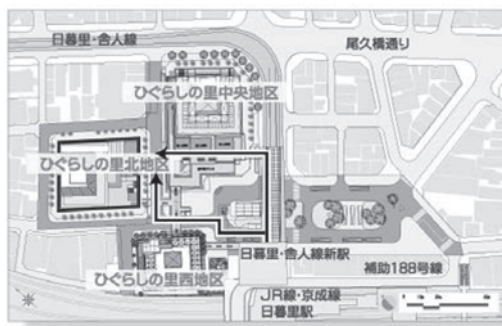
新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成29年度 SR推進委員会（公益・災害）研修会

テーマ「緊急被ばく医療研修会 ～3.11を風化させない～」

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、公益社団法人東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、本年度も研修会を企画しました。

2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。現在、政府は、2020年に向けた取組事項を公表しており、そのひとつとして「テロ対策・NBC災害対応力強化」を挙げ、対応策をとりまとめています。われわれも緊急被ばく医療（原子力災害時医療）に対する対応を十分に考慮しておく必要があると考えています。そこで、放射能汚染傷病者、もしくは汚染の可能性がある傷病者を自施設で受け入れるために必要なスキルについて、本年度から一つずつ見直していくこととしました。本年度はサーベイメーターの特性について再確認を行います。皆さまの参加をお待ちしております。

プログラム

限	タイトル	講師
1	緊急被ばく医療（原子力災害時医療）について	SR推進委員会委員
2	サーベイメーター（概論）	
3	サーベイメーター（特性確認実習）	

記

日 時：平成30年3月11日（日）13時00分～16時30分（受付開始12時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：30名程度（先着順）

受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“災害対策委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：SR推進委員会 委員長 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

平成29年度 第15地区研修会

本年度の第15地区研修会は、初の試みとなる二部構成で開催致します。

第一部は、がん治療に関する内容です。患者のQOLを著しく低下させる要因である、SRE（骨関連事象：骨痛、病的骨折、脊髄圧迫、高カルシウム血症など）についてご講演いただきます。

第二部は、骨密度のご講演となります。骨折リスク評価・治療の経過観察・続発性骨粗鬆症の評価などの観点から、異なる部位の骨密度にどのような差異があるのかを示し、さらに同様の観点から骨質評価について、さまざまなデータを用いて説明していただきます。

どちらも知識として持っておきたい興味深い内容となっておりますので、所属するモダリティに関わらずご興味のある方はぜひご参加ください。

第一部 「がん治療における骨の管理の重要性について」

講 師：第一三共株式会社 横浜支店 清田 一雄 氏

第二部 「骨密度と骨質測定」

講 師：東洋メディック株式会社 野中 希一 氏

記

日 時：平成30年2月9日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

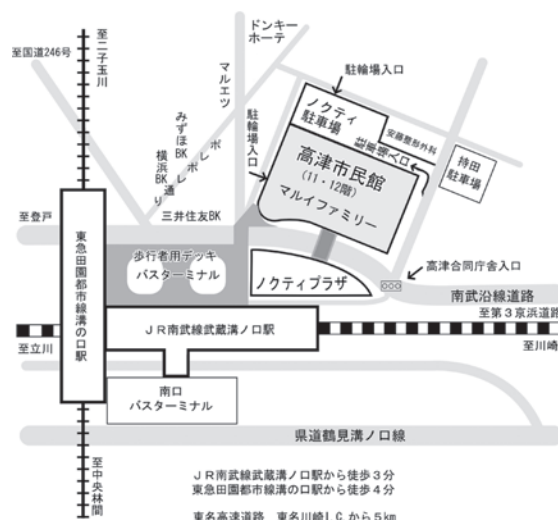
会 場：高津市民館 ノクティ2 12階第6会議室
〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口1-4-1

ア ク セ ス：東急田園都市線 溝の口駅 徒歩約3分
JR南武線 武蔵溝ノ口駅 徒歩約3分

受 講 料：診療放射線技師500円
新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生
無料

申 込 方 法：area15@tart.jpのアドレスへ、氏名・地区・勤務先をお知らせください。もしくは、東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第15地区”を選択）、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第15地区委員長（城南支部長）原子 満
E-Mail：area15@tart.jp



以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ 2

平成29年度 第8地区研修会

テーマ「みんなの介助 ～よくある失敗事例とその解決策～」

講 師：東芝病院 リハビリテーション科 理学療法士 武末 大蔵 氏

撮影や検査時に行う患者移動や介助の場面で、苦勞をし困ったことは何度か経験をしていると思います。3年前に～基本動作介助の基礎知識～として開催しましたが、リクエストが多かったため、今回は第2弾～よくある失敗事例とその解決策～としてご講演していただくことになりました。分かりやすくビデオでの解説や、実際に体を動かし体験することで、介助のコツを一緒に学んでいきたいと思っています。

記

日 時：平成30年2月17日（土）15時00分～16時30分

会 場：東芝病院 2号館2階 理学療法室

ア ク セ ス：JR京浜東北線大井町駅より徒歩7分

東急大井町線大井町駅より徒歩9分

りんかい線大井町駅より徒歩9分

京浜急行立会川駅より徒歩10分

受 講 料：診療放射線技師500円

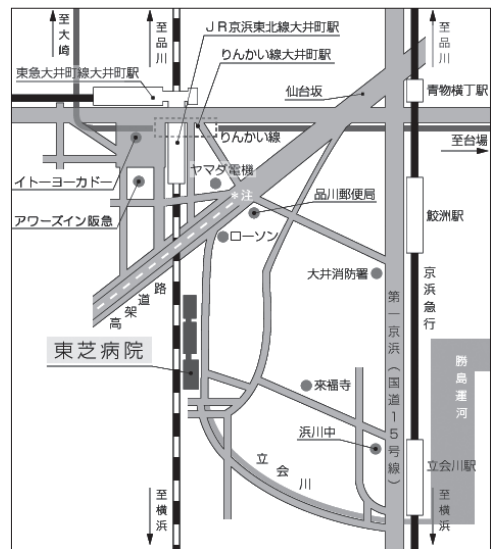
新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第8地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※会場の都合上、必ず事前の申し込みをお願いします。

問い合わせ：第8地区委員長 鎌田 治 E-Mail：area08@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務局 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第16地区研修会 (TART・SART地区合同)

テーマ「骨軟部 撮影セミナー2018 ～更なるスキルアップを目指して～」

記

日 時：平成30年2月17日(土) 9時50分～18時30分

場 所：済生会川口総合病院 講堂(B1) 埼玉県川口市西川口5-11-5

ア ク セ ス：京浜東北線 西川口駅下車西口より 徒歩約8分

受 講 料：2,000円

申 込 方 法：東放技ホームページ(<http://www.tart.jp/>)の参加申し込みフォーム(研修会申し込み先は“第16地区”を選択)からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第16地区委員長 工藤年男 E-Mail: areal6@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX: 03-3806-7724

以上

セッション1 10:00 ▶ 11:30	一般演題(各15分)	座長 船橋市立医療センター 石塚 瞬一
①「新しい画像処理パラメータの画質評価」	埼玉県済生会川口総合病院	内藤 完大
②「当院における脊椎撮影について」	さいたま市立病院	金子 瑠平
③「撮影室での安全な移乗 ～脊椎損傷者のトランスファー～」	国立リハビリテーションセンター病院	肥沼 武司
④「整形外科領域におけるEI値による至適撮影条件の管理法」	埼玉県済生会川口総合病院	岡田 翔太
⑤「重力ストレス撮影による足関節回外外旋骨折の評価」	上尾中央総合病院	茂木 大哉
⑥「当院における全脊椎撮影」	獨協医科大学埼玉医療センター	宇津木克弥
セッション2 11:40 ▶ 12:40	メーカーセッション「ランチョンセミナー」	座長 さいたま赤十字病院 大河原 侑司
「ランチョンセミナー(各社20分)」		富士フイルムメディカル株式会社 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン社 キヤノンライフケアソリューションズ株式会社
技師講演 12:50 ▶ 13:50	MRIセッション	座長 東京警察病院 放射線科 古河 勇樹
①「脊椎MRIの基礎」	東京メディカルクリニック	荒木 智一
②「日常検査から考える脊椎MRI ―更なるスキルアップのために―」	埼玉県済生会川口総合病院	丸 武史
セッション3 14:00 ▶ 15:00	小児撮影セッション	座長 さいたま赤十字病院 渡部 伸樹
①「小児外傷撮影と固定方法」	埼玉県立小児医療センター	持田 朋之
②「当院における小児全身骨撮影項目の検討 ―子ども虐待対応・医学診断ガイドをふまえて―」	埼玉医科大学病院	新井 舞
セッション4 DR 15:10 ▶ 16:10	DRセッション	座長 獨協医科大学埼玉医療センター 高橋 利聡
①「DRLを測定してみた ～整形領域～」	さいたま市立病院	福田 栞
②「散乱線補正処理技術の活用法」	埼玉医科大学病院	堀切 直也
教育講演 16:20 ▶ 17:20	「(教育講演)」	座長 越谷市立病院 村本 圭祐、上尾中央総合病院 中西 一真
「良肢位を考慮した肩関節撮影」		春日部市立医療センター 工藤 年男
特別講演 17:30 ▶ 18:30	「(特別講演)」	座長 埼玉県済生会川口総合病院 土田 拓治
「脊椎専門医からみた画像検査の役割」		埼玉県済生会川口総合病院 坂井 顕一郎 先生

※駐車券はございませんので公共の交通機関をご利用ください

お知らせ 4

平成29年度 第5地区研修会「第5地区のつどい」

テーマ「冠動脈疾患における画像診断の最前線」

講 師：順天堂大学医学部附属順天堂医院 循環器内科 准教授 藤本 進一郎 先生

本年度も第5地区の地区研修会「第5地区のつどい」を開催させていただきます。この研修会は、演者や参加者が活発に議論することにより、知識を深めることを目的とした研修会です。

CTを用いた冠動脈の形態的な診断はほぼ確立され、さまざまな施設で行われるようになりました。現在では装置や診断技術の進歩により冠動脈の形態的な診断にとどまらず、機能的な診断の可能性も報告されてきています。今回はそういった冠動脈CTやMRI、核医学を用いた冠動脈疾患における画像診断の最新トピックスについて講演していただきます。

冠動脈画像診断の第一線でご活躍されている藤本先生に普段の勉強会ではなかなか聞けないようなお話をたくさんしていただく予定です。冠動脈の画像診断についての知見を広める良い機会ですのでたくさんの方のご参加をお待ちしております。

また、研修会後は情報交換会を予定しております。ご参加いただいた皆さまの交流をさらに深めて地域医療の発展に繋げていただければ幸いです。

記

日 時：平成30年2月26日（月）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

場 所：順天堂大学医学部附属順天堂医院 D棟7階会議室
〒113-8431 東京都文京区本郷3-1-3

ア ク セ ス：JR中央線 御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口 徒歩約7分
東京メトロ 丸ノ内線 御茶ノ水駅 徒歩約7分
東京メトロ 千代田線 新御茶ノ水駅 B1出口 徒歩約10分

受 講 料：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第5地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※当日参加可能ですが、会場のスペースの関係で事前登録者を優先させていただく場合がございます。できる限り「事前申し込み」をお願い致します。

問い合わせ：第5地区委員長 稲毛秀一 E-Mail：area05@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務局 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第6地区meeting

テーマ「やるぞ！ 運動器超音波っ!!」

近年、整形外科診療の中で超音波画像診断装置の普及が急速に進んでいます。その背景には、これまでの超音波検査では見ることができなかった運動器を構成する“筋”“腱”などが時として、CT・MRIを超える検査結果をもたらすようになったことにあります。手軽かつ簡単に画像が得られ、動き、血流、質感を評価できる超音波画像診断装置は、今や整形外科診療にとって欠かせないものになっています。

実際に現場で活躍している診療放射線技師をお呼びしてご教授いただきます。会場に超音波検査機器を用意し、走査する画像と操作する手元の画像を同時にお見せ致します。

分からないこと、うまく撮るコツは、技師会の先輩に聞けばいいんです。われわれ第6地区meetingではそれを提供致します。一緒になって学びましょう。ぜひ一度お越しください。何かをつかんで帰路に着ける会にできるように頑張ります。先輩・後輩・他学校出身者・他地区の皆さま、分け隔てなく一緒に学びましょう。第6地区委員一同お待ちしております。

講 師：「診療放射線技師が行う運動器エコー ～新たな活用法～」	苑田第三病院	吉田大志
「超音波の基礎学」	中央医療技術専門学校	菅 和夫
「活動報告」	中央医療技術専門学校	学 生

記

日 時：平成30年3月3日（土）16時00分～18時20分（受付開始15時30分～）

会 場：中央医療技術専門学校 視聴覚室

ア ク セ ス：京成押上線「京成立石駅」下車 徒歩約7分（各駅停車をご利用ください）

受 講 料：診療放射線技師500円

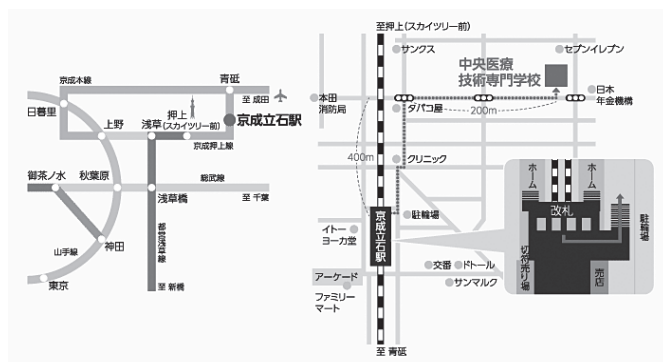
新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第6地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。※当日参加も可能です。

問い合わせ：第6地区委員長 高橋克行 E-Mail：area06@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

叙勲 瑞宝双光章 受章



元 東京都済生会中央病院 放射線技術科 技師長

すずき ひろかず
鈴木 啓和

昭和28年1月5日生（64歳）

経歴

昭和49年 4月	駒澤短期大学放射線学科	入学
昭和52年 3月	同	卒業
平成10年 9月	放送大学教養学部	入学
平成15年 9月	同	卒業

職歴

昭和52年 4月	東京都済生会中央病院	入職
平成25年 1月	同	定年退職
平成25年 9月	農林中央金庫健康センター他	勤務

団体歴

平成 5 年 5 月～平成13年 3 月	社団法人東京都放射線技師会 地区委員（第4地区）
平成13年 4 月～平成15年 3 月	社団法人東京都放射線技師会 理事（第4地区委員長）
平成15年 5 月～平成28年 3 月	公益社団法人東京都診療放射線技師会 地区委員（第4地区）
平成15年 1 月～平成16年 3 月	全国病院経営管理学会診療放射線業務委員会 委員

賞罰歴

平成15年 5月	小野賞：社団法人東京都放射線技師会
平成19年 6月	永年勤続表彰（30年）：社団法人日本放射線技師会
平成26年10月	東京都功労者表彰（労働精励）：東京都

叙勲を受けて

鈴木啓和

このたび、公益社団法人東京都診療放射線技師会の推薦により、平成29年11月3日秋の叙勲に際し「瑞宝双光章」を受章致しました。11月6日に東京都庁において伝達式が挙行され、11月8日には皇居におきまして拝謁の栄を授かりました。

受章に際し、篠原健一会長はじめ各理事、表彰委員会から推薦いただいたことに心から感謝申し上げます。また、審査書類の作成では高野修彰理事に大変お世話になり厚くお礼申し上げます。

私は昭和52年に診療放射線技師になりました。同年、東京都済生会中央病院に就職して36年近く放射線技術科で勤務して参りました。当時全国でも数少なかった頭部CTが導入されすぐに担当となり、大変忙しくとも充実した仕事の日々でした。その後一般撮影、血管撮影業務担当となりました。

日々の業務の傍ら平成5年から第4地区の地区委員、そして平成13年より一期地区委員長をお引き受けしました。この間、港区・渋谷区の会員施設をまわり、技師会に対しての要望・意見を伺い地区活動に役立てたのは大きな収穫でありました。

平成6年には東京都からの要請で4日間、島嶼診療（利島）に当院整形外科医師、看護師と共に参加致しました。

平成23年東日本大震災では東京ビッグサイトでのサーベイ活動に参加し、貴重な経験ができたことに加え、当院の数名の技師も参加してくれたのは大変心強く感じました。

平成28年3月まで地区委員として活動させていただきましたが、これからは一会員として応援していきたいと思ひます。

最後になりますが、今後とも公益社団法人東京都診療放射線技師会の益々のご発展と、会員の皆さまのご活躍を祈念しつつ、お礼と感謝の言葉に代えさせていただきます。

鈴木啓和様の叙勲の祝辞

会長 篠原健一

このたびの平成29年度秋の叙勲におきまして、本会会員として多年にわたりご活躍された鈴木啓和様が瑞宝双光章を受章されましたことをご報告し、心よりお祝いを申し上げます。このことは都民の医療・福祉の第一線で活動している本会会員にとりましても、まことに誇りと名誉ある受章であり慶びに堪えません。

鈴木様は昭和52年に駒澤短期大学放射線学科を卒業され、診療放射線技師免許を取得されて以来40年以上の永きにわたり診療放射線技師としてこの道一筋に奉職されました。この間、常に医療技術向上と患者さん中心の医療の実践につとめ、職場では常にリーダーシップを発揮し、大きな視野と包容力を持ち、職能の後輩のみならず他職種からも信頼され高く評価されました。

本会でも第4地区の地区委員を16年間務められ（内地区理事2年）、特に地区理事時代には第4地区の会員施設全てを訪問し、技師会が開催する講習会等に参加して知識・技術の向上を図ることの重要性を説きました。未入会者にも積極的に入会案内をはたらきかけ、現在につながる地区活性化の礎となりました。

このたびの鈴木様の受章は、診療放射線従事者としての国民医療・地域医療に対する功績が高く評価されたものであります。今後とも本会の発展と後進のために更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、鈴木様の益々のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成28年度

新人奨励賞 受賞報告

当施設における被ばく相談の現状と今後の課題



○萩原 奈津美、木村 聡、佐藤 謙一

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター

【目的】

当施設は平成23年5月に医療被ばく低減施設認定されてから5年が経過して平成28年度に更新の予定である。今回は5年間行ってきた相談業務、実際に訪れた相談者の分析や相談内容、今後の課題について検討した。

【方法】

業務フローと相談の分析と問題点について次の項目を検討した。

- ① 業務フローは被ばく相談を始めるための事前準備、実際の相談業務の流れ、平均対応時間について
- ② 相談の分析は平成23年5月から平成28年8月までの5年間に受けた被ばく相談の件数、男女比、年齢構成、相談内容について
- ③ 被ばく相談対応スタッフ（放射線管理士）と被ばく相談マニュアルの問題点について

【結果】

① 業務フロー

事前準備として相談マニュアルを作成し、Q&Aや各装置の被ばく線量表の作成を行った。併せて医療被ばくやカウンセリング関連の書籍を準備した。相談スキルの習得は産業カウンセラーによる傾聴講座を開催し、傾聴スキルの「受容」と「共感」について実習を行った（表1）。

表1 傾聴講座の内容

1. 傾聴についてのガイダンス①	20分
2. 聴き方の違いを体験	10分
3. 傾聴についてのガイダンス②	10分
4. 傾聴実習	30分
5. 相談業務と傾聴スキル	10分
6. 感想とアンケート記入	10分

指導者：産業カウンセラー 1名

相談業務は、一次対応と二次対応を設定した。一次対応は、通常業務時間内に出勤している相談対応スタッフが状況を確認し相談者がどのようなことに不安や疑問を抱いているかを傾聴する。相談場所は落ち着いて話が聞ける静かな場所を確保し、相談時間は5分から10分を目安に実施する。二次対応は、一次対応で線量調査などに時間を要すると判断した場合や相談者からしっかりと相談内容を聴いてもらいたいと要望があった場合に日時を設定し、後日あらためて対応する。相談場所は相談室を確保して、相談時間は最長60分を目安に実施する。

5年間で一次対応から二次対応への移行率は0%で、一次対応の平均相談時間は6分間であった。

② 相談の分析

5年間の相談件数は17件であった。

相談者の男女比は、男性31%女性69%で女性の相談者の割合が多かった（表2）。

年齢構成は40代12%、50代19%、60代19%、70代31%、80代19%で平均年齢が66.9歳であった（表3）。

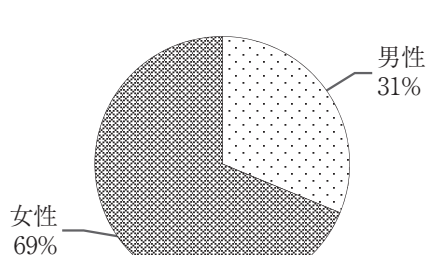


表2 男女比

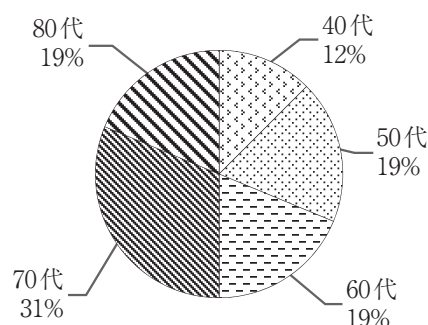


表3 年齢構成

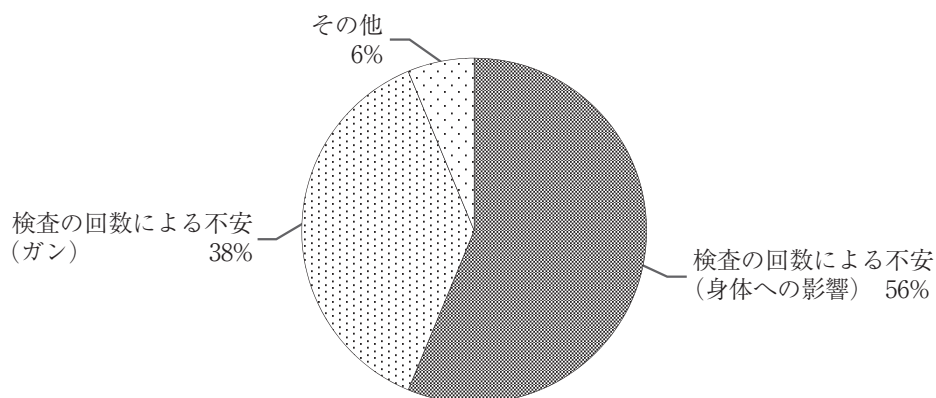


表4 相談内容

相談内容を表4に示す。検査の回数による漠然とした身体への影響を不安に思う内容は56%で、質問の事例は「こんなに検査を受けても大丈夫でしょうか？」などがあった。検査の回数によるガンへの不安の内容は38%で、質問の事例は「たくさん検査を受けてもガンになったりしませんか？」などがあった。その他は6%であった。相談内容としては、検査回数に関する内容が全体の9割以上を占めた。

③ 問題点について

- ・技師が12名に対し相談対応スタッフは3名しかいない。
- ・平成26年度に一般撮影装置の機器更新があったが、その後被ばく線量の算出が行われていない（更新前：CR 更新後：FPD）。
- ・被ばく相談マニュアルに、診断参考レベルについて（診断参考レベルの説明、線量比較など）の項目が追記されていない。
- ・相談対応スタッフのスキルアップが行われていない。

【考察】

① 業務フロー

業務に支障の少ない時間で相談が終了していることや二次対応への移行がないのは、被ばく相談マニュアルの準備と、傾聴スキルを事前に習得したことで適切な対応ができているためと考えられる。

② 相談の分析

当施設は高齢の方の割合が高く、その多くの方が兼科や他病院を受診されていて検査も重複している場合がある。そのために検査回数に関する被ばく相談が多くなっていることが考えられる。

③ 問題点について

対応スタッフが少ないのは、職員の中で相談対応する放射線管理士の認知度が低いことや資格取得に対する意識が低いためと考えられる。機器更新後の被ばく線量の算出が行われていないことや、被ばく相談マニュアルに診断参考レベルについての項目を追加していないことは、被ばく相談への適切な説明が行えない可能性がある。また、相談対応スタッフのスキルアップが行われていないことは、今後の被ばく相談に影響が出る可能性がある。

【結語・今後の課題】

相談対応スタッフが少ないことは、被ばく相談の一次対応を通常業務時間内に予約なしで行っているため、スタッフが不在の場合に対応ができない状況が起こる可能性がある。職員の資格取得への啓蒙活動を行って相談対応スタッフを増やすことがまず挙げられる。

また、機器更新や診断参考レベルを考慮した被ばく相談マニュアルの改訂は、相談に対して適切な回答をするために必要である。

相談対応スタッフは講習会や研修会に定期的に参加し、傾聴スキルの向上を行い相談者の不安や疑問に対して受容と共感をすることで、より一層相談者に安心感を与えることができると考えられる。

【今後の課題への進捗状況】

- ・平成29年3月に医療被ばく低減施設認定の更新審査を受けて5月に正式に認定された。
- ・相談対応スタッフの人数を3名から4名に増員した。
- ・平成26年に更新した一般撮影X線機器で線量測定を行い、測定結果と診断参考レベルの比較と診断参考レベルについての説明を被ばく相談マニュアルに追加した。
- ・相談対応スタッフはスキル向上のため、「放射線被ばく相談員」を取得した。



第二部 血管系 食道静脈瘤

公立福生病院 医療技術部 診療放射線技術科 野中 孝志

サマーセミナーやウインターセミナーでご好評をいただいた「急性疾患アラカルト」が、3つの領域と各回それぞれにテーマを変えて本誌で連載しています。第九回目は、食道静脈瘤について解説致します。

食道静脈瘤とは、肝硬変や慢性肝炎、あるいは門脈や肝静脈の狭窄・閉鎖によって門脈圧が上昇し、食道の粘膜下層の静脈が太くなってしまうものです。進行すると破裂してしまい、その結果、吐血や下血が起り死に至ることもあります。食道静脈瘤は肝硬変の死亡原因の主要なものの一つであるといわれています。この肝硬変・門脈圧上昇というのが食道静脈瘤の大きなポイントになります。

食道静脈瘤ができる原因は90%以上が肝硬変であり、肝硬変が進行するとほとんどが食道静脈瘤を合併すると考えてよいと言えます。

肝硬変によって門脈の血流が滞り、門脈の圧が上昇し、門脈圧亢進症という状態になりますが、この状態になると、停滞した血流が過剰に食道へ流入し、血管が膨らみ蛇行した状態となります。これがいわゆる食道静脈瘤です（図1）。

1 病態

食道静脈瘤ができる主な原因である肝硬変についてですが、肝細胞が破壊され、線維組織が増殖するために肝臓が縮小して硬くなる病態のことを言います（図2）。まさに肝臓病の終着駅ともいえる病態ですが、肝硬変の原因としては、ウイルス性、アルコール性、自己免疫性、薬剤・毒性、胆汁うっ滞性、うっ血性、栄養・代謝障害性などが挙げられます。肝硬変の症状としては、腹水、黄疸、脾腫などがあり、併発するものとして今回

のテーマである食道静脈瘤があります。ここで食道周辺の血流に関してですが、胃や腸の血液は門脈→肝臓（栄養成分、有害成分を除去）→肝静脈→下大静脈→右心房を通りますが、肝硬変になると血液が通りにくくなります。そうすると血液は別の道を通って心臓に戻ろうとするのですが、その道の一つが胃や食道の粘膜下層の静脈で、だんだんと太くなり瘤を形成してしまいます。肝硬変などで肝臓が門脈血を処理できなくなると、門脈に大量の血液が滞り、進行すると血液の液体成分が血管壁からにじみ出て、腹水がたまるという



図1



図2

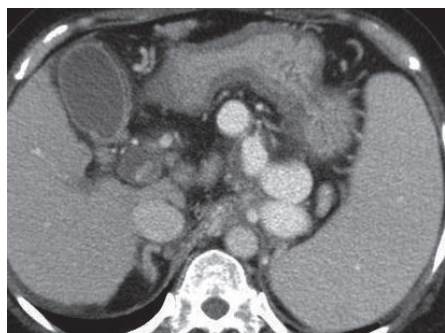


図3

状態になります。それを防ぐため門脈にはいくつかの側副路（迂回路）が用意されているのですが、その一つが、食道下部の側副路で、肝臓に流入できずに滞った胃の噴門部の門脈血が食道静脈→奇静脈を通して上大静脈に流入するルートです。この血流量が増加すると、血流を処理しきれなくなった食道静脈がふくれて食道静脈瘤を形成します（図3）。

2 症状

食道静脈瘤の症状ですが、食道静脈瘤自体の自覚症状はあまりなく、嚥下困難は、静脈瘤が大きくなっても引き起こされないとわれています。症状があるとなれば、食道静脈瘤の原因である肝硬変の症状（手のひらが赤くなる、胸のあたりに血管が浮き出る、疲労感、倦怠感、黄疸 etc.）です。症状があまりないので突然破裂し、大量の吐血や下血を起こすこともあります。肝硬変によって血液凝固因子や血小板が減少しており、大量出血を起こす危険が大きいので肝硬変と言われている方は、定期的に内視鏡検査を受け、予防的治療を行えば、破裂を未然に防ぐことが可能なこともあります。

3 検査

食道静脈瘤の検査には主なものとして

- ・ 上部消化管内視鏡
- ・ X線検査
- ・ 門脈造影
- ・ 超音波内視鏡
- ・ CT

が挙げられます。上部消化管内視鏡は肉眼的に静脈瘤の大きさや形態等を確認できるので主力の検査となります。他の検査では確認できない大きさの静脈瘤も診断することが可能です（図4）。X線検査は食道造影で粘膜の隆起等を確認することが可能です（図5）。門脈造影では側副血行路の状態を確認することができますが、やはり侵襲的な検査になってしまうというデメリットがあります。超音波内視鏡では壁外血行路の観察することも可能です（図6）。

CTは門脈血動態を体系的、動的に捉えることができ、静脈瘤の供給路や排出路の他の側副血行路の発達程度を把握でき、有用な検査となっています（図7）。

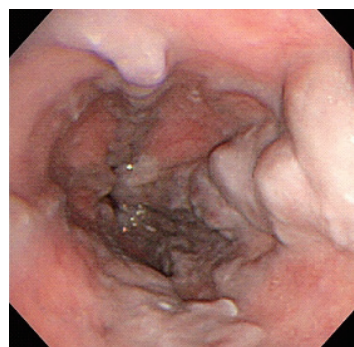


図4

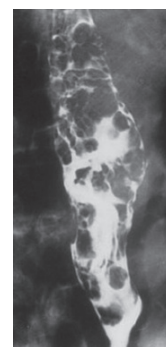


図5

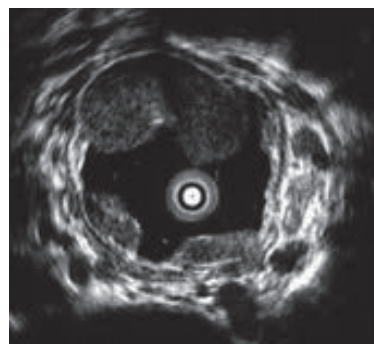


図6



図7

4 治療

食道静脈瘤は、破裂した場合には大出血し、吐血や下血により血圧が低下し、出血性ショックにより命を落とす危険性があり、迅速かつ適切な対処が必要となります。

食道静脈瘤による最初の吐血で約3割の人が1カ月以内に死亡するという報告もあるくらいでその対処は非常に重要となってきます。

食道静脈瘤の治療には主なものとして

- ・食道静脈瘤硬化療法 (EIS)
- ・食道静脈結紮術 (EVL)
- ・EIS+EVL (EISL)
- ・アルゴンプラズマ凝固法 APC (Argon Plasma Coagulation)

があります。

食道静脈瘤硬化療法 (EIS)

静脈瘤を完全に消失させることがこの治療の目的で、食道静脈瘤の内視鏡的治療法として広く普及しています。基本的には2種類の硬化剤をその目的に応じて区別して使用します。オレイン酸モノエタノールアミン (EO) の血管内注入法と、エトキシスクレロール (AS) の血管外注入法があり、内視鏡で静脈瘤を確認しながら静脈瘤に直接針を刺し、EOを注入します。このとき血管内に注入されているかどうか、透視画像を見ながら行います。血管内注入が困難になったら、血管外にASを注射し、食道粘膜を硬くすることで静脈瘤の再発を予防します (図8)。



図8

食道静脈結紮術 (EVL)

この方法は、ゴムバンドを用いて食道静脈瘤を結紮することにより、血栓性閉塞を引き起こそうとするものです。手技が簡単で入院期間が短いことから、わが国でも急速に普及しています。しかし、EISに比べて再発が高率に起こりやすく、術後出血の合併症などの問題があります。

最近では静脈瘤破裂時の緊急止血に使用したり、EISの穿刺部位に併用することで、出血の予防や硬化剤の停滞を目的に使用します (図9)。

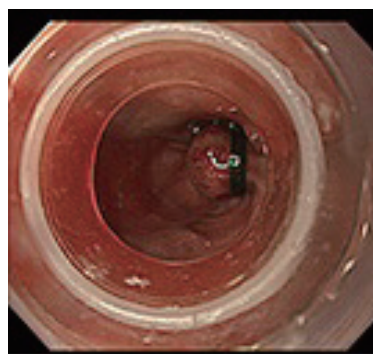


図9

アルゴンプラズマ凝固法 APC (Argon Plasma Coagulation)

EVL治療に併用されることが多い方法で下部食道粘膜を線維組織で置き換えることにより、静脈瘤の発生母地を完全に消滅させ、内視鏡的硬化療法後の食道静脈瘤再発を予防しようとするものです (図10、図11、図12)。



図10

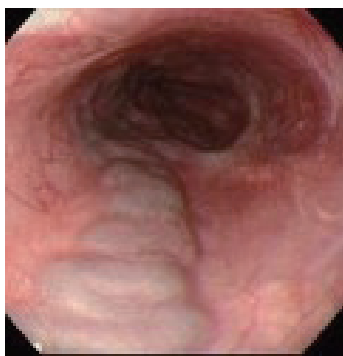


図11

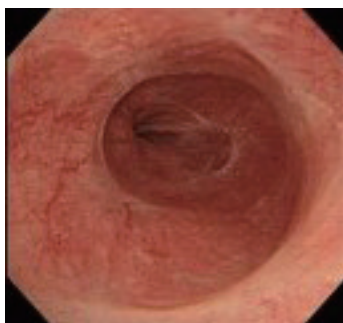


図12

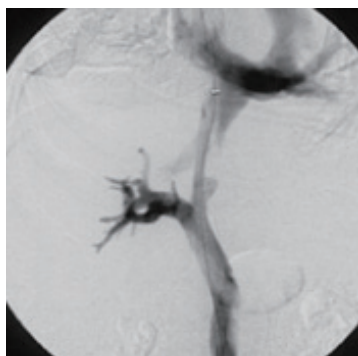


図13



図14

この他にもバルーンタンポナーデ法、血管内治療TIPS（経頸静脈的肝内門脈静脈短絡術）、薬物療法、外科治療などがあります。

この中でもTIPSは肝静脈と門脈の間に金属ステントで短絡路を作り、門脈血を肝臓を介さず直接下大静脈へ流入させることにより門脈圧の減圧を図るもので、内視鏡治療では止血が困難な活動性出血の症例や、治療にもかかわらず出血を繰り返す症例が適応になります（図13、14）。

食道静脈瘤は破裂すると生命に関わる非常に危険な病気です。血液検査などでウイルス性肝炎の既往や肝機能異常が発見されたら、定期的に内視鏡検査を受け、出血の危険性が高ければ内視鏡的治療を受けることが重要となります。

参考文献

- ・腹部のCT
メディカル・サイエンス・インターナショナル
- ・救急疾患のIVR 手技の実際とポイント
MEDICAL VIEW
- ・即断即決 できる救急IVR
MEDICAL VIEW
- ・上部消化管X線診断 ブレイクスルー
医学書院
- ・技師&ナースのための消化管内視鏡ガイド
学研メディカル秀潤社
- ・画像診断リファレンス IVR 機材と手技・ポイント
MEDICAL VIEW
- ・病気がみえる vol.1 消化器
MEDIC MEDIA

こ え

第74回日暮里塾ワンコインセミナー印象記

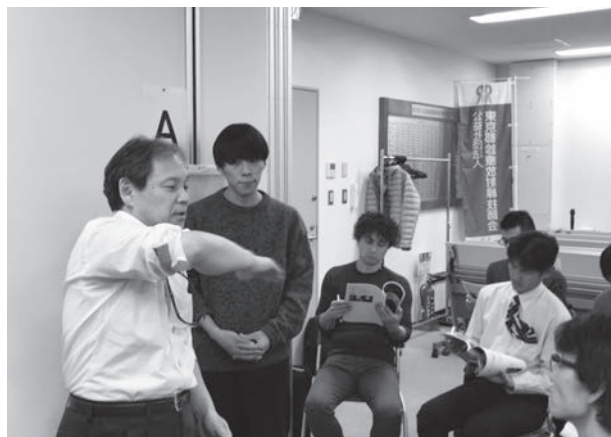
中央医療技術専門学校 田村直実

平成29年11月28日に東京都診療放射線技師会研修セミナーで開催された、第74回日暮里塾ワンコインセミナー「明日から役立つ知識～一般撮影～」に参加させていただきました。沢山の診療放射線技師の方々が参加されており、熱心に勉強されている姿を見て、学生である私はとても刺激を受けました。

講演では、脊椎、下肢、上肢の撮影法や撮影時のコツを中心とした内容でした。お配りしていただいた冊子と共に、講師と患者モデルによるポジショニングの実演を、目の前で行っていただくことでより

理解が深まりました。学校の授業で学んだ撮影技術だけでなく、現場で用いられる撮影法や講師の方々の各病院での工夫を学ぶことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

今回のセミナーで学んだことを生かして、患者さんが安心して検査を受けられるよう、最善を尽くせる診療放射線技師を目指したいと思いました。今後も勉強会やセミナーに参加をして日々成長していきたいと思います。



超音波画像研究会 定例会

第253回定例会

日 時：平成30年2月14日（水）19時00分開演（受付開始18時30分）

会 場：中央医療学園専門学校 1号館10階教室（東京都荒川区荒川1-41-10）

テ ー マ：「運動器エコーの基礎とハンズオン」

講 師：苑田第三病院 放射線科 吉田 大志 先生

近年、注目を集めている整形領域の超音波画像検査ですが、今回は基礎的な画像の見方からはじまり、ハンズオンを行うことで整形領域の超音波検査の第一歩を踏み出しましょう。

参 加 費：会員500円/準会員・非会員1,000円/新入会3,000円（入会金含む）/学生無料

定例会問合せ先：中央医療技術専門学校 菅 和雄、今尾 仁

TEL：03-3691-1879 ※16時30分～18時00分

※ 都合により会場が変更になる場合があります。

変更の際はホームページでお知らせ致します。

定例会、講習会の詳細は超音波画像研究会 ホームページにて

超音波画像研究会 事務局 E-mail：us.image.workshop@gmail.com

イエローケーキ

お城

「子育ても一段落すると夫婦は、なぜ旅行をしたがるのだろうか？旅行の目的は夫婦によって様々であるが、私たち夫婦の目的は食べ放題&飲み放題&温泉である」とイエローケーキに書いてから数年が経った。最近では旅行の目的に、妻は御朱印集め、私はお城巡りが加わった。お城巡りといっても闇雲に巡っては整理がつかなくなってしまう。そこで財団法人日本城郭協会が定めた「日本100名城」のスタンプラリーをここ最近始めた。北海道の五稜郭から沖縄の首里城まで日本中の100名城の説明とともにスタンプを押すスペースのあるガイドブックを持ちながら登城を楽しんでいる。ただ、城や石垣の迫力には大いに魅力を感じるが、歴史が苦手な私にとって、誰がどの時代に作ったのかなどの時代背景には興味が湧かない。しかし、最低限の知識として、国宝5城：松本城（長野）・犬山城（愛知）・彦根城（滋賀）・姫路城（兵庫）・松江城（島根）と重要文化財7城：弘前城（青森）・丸岡城（福井）・備中松山城（岡山）・丸亀城（香川）・松山城（愛知）・宇和島城（愛媛）・高知城（高知）は現存天守であるということは覚えなければならぬだろう。現存天守（江戸時代以前から保存されている天守）は足腰の元気なうちしか登れない、全部制覇するために次回の旅行計画をする今日この頃である。

中年夫婦

日本消化器がん検診学会 第49回放射線研修委員会 学術集会

次世代の胃X線検診を目指して ～ 新・胃X線撮影法の利点・欠点とこれから ～

大会長：仲村 明恒（野村病院）

実行委員長：坂倉 智紀（杏林大学医学部附属病院 放射線部）

期 日：平成30年3月10日（土）9:00～ 受付開始

会 場：はまぎんホール ヴィアマーレ

神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-1-1

参加費：3,000円

付与単位：胃がん検診専門技師認定更新3単位



学術集会HP
QRコード

～プログラム～

<大会長講演>

9:35～ 大予言：胃X線検査の未来は？

野村病院 仲村 明恒

<教育セッション（安全）>

10:45～ 撮影技術などについて

慶應義塾大学病院 中村祐二郎

アナフィラキシー・迷走神経反射等対策について

東京都がん検診センター 小田 丈二

<ランチョンセミナー>

12:00～ オレたちの大腸CT ～海外には惑わされないゾ！～

イーメディカル東京遠隔画像診断センター 鈴木 雅裕

<シンポジウム>

13:15～ 撮影法の問題点と課題 シンポジスト

神奈川県結核予防会 中村 真

東京山手メディカルセンター 田中 靖

東京都がん検診センター 高嶋 優子

東京都がん検診センター 水谷 勝

<症例検討会（アンサーパッドを用いての全員参加型）>

15:25～

東京都がん検診センター 山岸 史明

コメンテーター

慶應義塾大学病院予防医療センター 吉田 諭史

東京都がん検診センター 山里 哲郎

野村病院 仲村 明恒

お問い合わせ：第49回学術集会実行委員会

E-mail：49th-otoiawase@jsgcs-kanto-x.org



第16回

日本臨床医学 リスクマネジメント 学会・学術集会

メインテーマ
患者の安全、医療者の安全

会期 2018(平成30)年
5月25日(金)・26日(土)

会場
豊洲シビックセンター
(東京都江東区豊洲2-2-18)

会長
上條 由美
(昭和大学江東豊洲病院)

演題募集期間
2017(平成29)年 11月27日(月)~2018(平成30)年 1月26日(金)

学会HP▶ <http://rmcm16.umin.jp/>

運営事務局
株式会社 学会サービス内
〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-3-101
TEL:03-3496-6950 FAX:03-3496-2150 ✉ rmcm16@gakkai.co.jp

News

2月号

日 時：平成29年12月9日（土）
午後4時00分～午後5時00分

場 所：箱根対岳荘

出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、江田哲男、
鈴木雄一、関 真一、浅沼雅康、安宅里美、
長谷川雅一、高野修彰、工藤年男、竹安直行、
平瀬繁男、野口幸作、高橋克行、崎浜秀幸、
原子 満

出席監事：葛西一隆

指名出席者：関谷 薫（第2地区委員長）、稲毛秀一（第
5地区委員長）、鎌田 修（第8地区委員長）、
澤田恒久（第10地区委員長）、鈴木 晋（第
12地区委員長）、渡辺靖志（SR推進委員長）、
河内康志（総務委員）、雨宮広明（総務委員）、
新川翔太（総務委員）

欠席理事：市川重司、齊藤謙一、市川篤志

議 長：篠原健一（会長）

司 会：石田秀樹（副会長）

議事録作成：新川翔太

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：17名、欠席：3名

会長挨拶

このたびは第8回理事会兼役員研修会にご参加いただき、感謝する。今年の大きな行事としてはこれが最後だが、年明け早々には新春のつどいが予定されているため、皆さまには各メーカーの方への声掛けをお願いしたい。今回の研修会において、2019年の関東甲信越学術大会などに関する活発なご意見を期待している。

報告事項

1) 会長

・活動報告書に追加なし。

2) 副会長

白木副会長

・活動報告書に追加なし。

石田副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 専門部委員会報告

渡辺SR推進（公益・災害）委員長：JARTの災害支援診療放射線技師の研修会が今年から始まる。各都道府県の技師会から1名ずつ選出され、東京都では代表して私が参加する。

4) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) その他

・活動報告書に追加なし。

議 事

1) 事業申請について

①多摩支部研修会

テーマ：救急（夜勤帯）におけるMRI撮影のコツ

日 時：平成30年2月9日（金）18時45分～20時15分

場 所：国分寺労政会館 4階第4会議室（予定）

上記開催について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

②第5地区研修会

テーマ：冠動脈疾患における画像診断の最前線

日 時：平成30年2月26日（月）19時00分～20時00分

場 所：順天堂大学医学部附属順天堂医院 D棟7階会議室

上記開催について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

③第6地区meeting

テーマ：やるぞ！運動器超音波っ！

日 時：平成30年3月3日（土）16時00分～18時20分

場 所：中央医療技術専門学校

上記開催について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

④平成29年度業務拡大に伴う統一講習会（南関東・東京）

テーマ：統一講習会

日 時：平成30年3月3日（土）8時50分～17時10分

平成30年3月4日(日)8時30分～17時30分
追加講習

平成30年1月28日(日)8時50分～17時10分

平成30年2月4日(日)8時30分～17時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

尚、会誌上の講習会日程を変更した経緯があり、違っているが、参加者はJARTISからの申し込みなので、最終的な確認はされると考える。ご承知おきいただきたい。
上記開催について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

⑤平成29年度SR推進委員会研修会

テーマ：緊急被ばく医療研修会 ～3.11を風化させない～

日 時：平成30年3月11日(日)13時00分～16時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記開催について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

2) 柔道整復師法の一部改正する法律案に対する反対表明決議について

篠原会長：日本診療放射線技師会として法案にはすでに反対表明を行っているが、法人である各都道府県技師会の理事会で決議を行ってほしいと要請を受けている。改めて、決議文を作成する予定はないが、他の職能団体の動向に対して東京都診療放射線技師会として決議表明を行うことが重要であると考え、提案をした。
上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

3) 関東甲信越学術大会サポート会社契約について

白木副会長：企画委員会では、契約するサポート会社を2社の中から最終的に1社(クバプロ)に選定した。一橋講堂での実績および文科省の仕事を請け負っている点でも信頼できるのでご承認いただきたい。

渡辺副実行委員長：選定した大きな理由として、もう1社からは最終見積もりの依頼をお願いしたが回答がな

かったことも付け加えさせていただく。
上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

4) 新入退会について

11月：新入会 11名、転入1名、退会3名
上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

地区意見・質問

今回は質問、意見はなかった。

連絡事項

1) 各専門部からの連絡事項

高野渉外委員長：11月の秋の叙勲で元東京都済生会中央病院の鈴木啓和氏が受章された。また、来年は定期総会の開催時期が早まるため、小野賞の選出の準備を各委員会で早めをお願いしたい。

江田厚生調査委員長：皆さまのご施設に今年度のアンケート調査を発送した。12月23日が締め切りとなるのでご協力をお願いしたい。

2) その他

石田副会長：代議員選挙に当たって、立候補の期限が12月25日までとなっている。各地区から選出に関してご協力をお願いしたい。

3) 今後の予定について(総務)

鈴木総務委員長：東京都の立ち入り検査が12月19日に予定されており、総務委員会からお願いがあった場合は早急な対応をお願いしたい。また、来年の第9回理事会は1月5日開催予定である。後日に来年度の事業予定表を配布する予定である。事業報告書はおおむね集まっているが、まだ提出されていない方はメールを送っているので早めに対応していただきたい。

以上

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成29年度

☆1. 日暮里塾ワンコインセミナー

第76回日暮里塾ワンコインセミナー 平成30年3月8日(木)

2. 集中講習会

第10回MRI集中講習会 平成30年2月3日(土)

☆3. 支部研修会

城西支部研修会 平成30年2月7日(水)

多摩支部研修会 平成30年2月9日(金)

4. 地区研修会

第15地区研修会 平成30年2月9日(金)

第8地区研修会 平成30年2月17日(土)

第16地区研修会 平成30年2月17日(土)

第5地区研修会 平成30年2月26日(月)

第6地区研修会(第6地区meeting) 平成30年3月3日(土)

5. 特別委員会研修会

SR推進委員会研修会 平成30年3月11日(日)

6. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動

日暮里駅前清掃活動

富津海岸清掃活動

関連団体

超音波画像研究会 第253回定例会 平成30年2月14日(水)

平成29年度第7回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年3月3日(土)～4日(日)

日本消化器がん検診学会 第49回放射線研修委員会 学術集会 平成30年3月10日(土)

第16回日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会 平成30年5月25日(金)～26日(土)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

Postscript

2月といえばバレンタインデー。世の中の若人たちはさぞ無駄に胸を躍らせる（これといった当てもないのに妄想でいっぱいになる）イベントでしょう。でもあれかな、最近の子は世の中に踊らされることは少ないのかな……。すっかりオジサン仲間入りした筋肉スグルもモテ期（妄想期？）はとうに過ぎ去り義理チョコをむさぼっている昨今です。

この“義理チョコ”結構やかかいですよ。皆さん女性の多い職場で働かれている方が多いので、ちょこちょこもらっちゃう人も多いのではないかと思います。私も日頃からの筋肉アピールが実り？ オバサマ達にけっこう色々もらっちゃいます。ここで問題となってくるのがホワイトデーに何を返すか、これのチョイスに毎回悩まされます。バブルを見て育った私。当時、デートマニュアルとも評されたあの“Hot-Dog PRESS”や“POPEYE”に踊らされていた私には“倍返し”は当たり前で“本命には10倍返し”ってのがいまだに脳裏をよぎるのです。ですので、スーパーの店頭に並んでいるような義理チョコに対しても、お返しはおのずとデパ地下あたりで購入する羽目になったりします。ただ、それだけではすまないのです。あのデートマニュアルにはこうも書いてあったような気が

します。“王道にはお金を使え、そうじゃないなら趣向を凝らせ”すごいですよね。“人とかぶっていいのは高価なブランドものだけで、そうじゃないものは決して他人とかぶるな”ってことです。筋肉スグルもご多分に漏れず20代前半はずいぶんお金も使いました。ヘリコプタークルージングしたこともございます。バカしたなあと思う反面、あれで非日常を楽しむってことやお金の使い方を覚えたなあとなんては思います。話がそれてしまいましたが、今年のお返しはどうしようかなあ。都内の銭湯で使える“都内共通入浴券”を買って小分けにして石鹸と一緒に配ろうかなあ。

さて、意中の人をどうにかしたい若者は趣向を凝らしてちょっとお金使って非日常を演出してみてもいいかなでしょうか。ダメだったときの落ち込みは半端ないけど、まあ失敗は成功の糧になると思います。まあ、もらえないと始まんないんですけど……。ちなみに、20代後半からボディビルにどっぷり浸かり、毎年バレンタインデーにはジムでチョコ味のプロテインを飲んでいて私は、いくつかの本命チョコと女性を逃しました。皆さまも気を付けましょう。

筋肉スグル

■ 広告掲載社

コニカミノルタジャパン(株)
東芝メディカルシステムズ(株)
富士フイルムメディカル(株)

東京放射線 第65巻 第2号

平成30年1月25日 印刷（毎月1回1日発行）

平成30年2月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません
電話・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃

会員動向

平成29年度12月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成28年度末集計	2,077	205	22	16	174
平成29年 4月	2,101	31	3	3	7
平成29年 5月	2,116	18	3	2	4
平成29年 6月	2,142	29	1	1	3
平成29年 7月	2,156	14	1	0	1
平成29年 8月	2,175	18	3	0	2
平成29年 9月	2,183	15	0	3	4
平成29年10月	2,195	15	0	0	3
平成29年11月	2,204	11	1	0	3
平成29年12月	2,210	9	2	2	3

**TOSHIBA
MEDICAL**

Aquilion ONEは、Aquilion ONEを超え、生まれ変わる。

新世代320列Area Detector CT

さらに低被ばく、高画質なADCTへ
Genesis of Image Quality

さらに速く、使いやすいADCTへ
Streamlined Workflow

より美しく、洗練されたADCTへ
Patient Centric Design



東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地
<http://www.toshiba-medical.co.jp>

認証番号：227ADBZX00178000 東芝スキャナ Aquilion ONE TSX-305A